

其の戦の前に、資本家階級の暴圧マ暴ク団の日本が先走り、あらゆる全組合員は總ての障害物を排除して、協力の一致全全階級の利益の爲に戦はねばならぬ

各 日 別

八月  
大島鉛筆工支部  
小松川第一支部  
防備工支部  
芝浦コンクリート支部  
龜戸支部  
龜戸司厨支部  
下谷染色支部  
小松川製糖工支部  
小松川コンクリート支部  
小松川支部  
小松川支部

十月  
前筆支部  
小松川第二支部  
小松川工支部  
深川硝子工支部  
本所第三支部  
三阿馬屋工支部  
中野支部  
川口支部  
湯本支部

四月  
深川防備工支部  
大井鉛筆工支部

六月  
深川支部  
城西セイレ支部  
日本橋ブルシ支部

計 二十七支部

消滅したる支部数 十五支部

内 誤 四支部

本組合と離脱せるもの三支部  
本組合と離脱せるもの五支部  
小松川 第六、三河島、赤松、芝浦製糖  
荏原、小石川、硝子、大島、ゴム

会社の圧迫によるもの五支部  
品川第一、品川ゴム工、大井毛織工、本所硝子工  
深川コンクリート  
三支部  
麻布、東東塗工、高田